

日衛連

第90回総会で日清工・創立50周年式典を併催

日本衛生材料工業連合会(澤田道隆会長、以下「日衛連」)は6月18日、都内で第90回総会を開催した。また、日衛連の構成団体の一つである日清工の創立50周年記念式典を併催した。澤田会長は「日衛連は2024年度、国際連携に向けた活動で、50周年を迎えたことを記念し、総会後に式典が開かれた。」と述べた。

日衛連は2024年度、国際連携に向けた活動で、50周年を迎えたことを記念し、総会後に式典が開かれた。日衛連は2024年度、国際連携に向けた活動で、50周年を迎えたことを記念し、総会後に式典が開かれた。日衛連は2024年度、国際連携に向けた活動で、50周年を迎えたことを記念し、総会後に式典が開かれた。



日本清浄紙綿類工業会 創立50周年記念式典
副社長 日本衛生材料工業連合会
第90回 通常総会懇親会

グラフィコ

夏の足ケアに関する勉強会を開催

グラフィコは、足の悩みが増える夏のシーズンに向けて、薬用足石けんなどを展開する「フットメジ」の提案を強化する。今年2月には、足用泡ブラシ(1078円)を発売し、タイパや短時間での使用を促進し、ニーズに対応を強化して



小学生向け夏休み限定ワークショップの内覧会を開催

コーセーは直営店「Maison KOSE銀座」2階にて、7月20日～8月23日の期間中、小学生の夏休みの自由研究の題材を提供するワークショップ「なつやすみメンシラボ」(1日4回各60分、参加費1100円)を開催するに先立ち、7月19日、メディア向けの内覧会を開催した。

ワークショップでは、「うちわ色付け体験(低学年向け)」「もちもち泡体験(中学年向け)」「日やけ止め研究(高学年向け)」の3種類から好きな体験を選べる。また、「洗顔を学ぶ機会を提供する」として、肌ケアの重要性を学ぶ機会を提供する。ワークショップ終了後、参加者全員に「なつやすみメンシラボ」の体験した内容をその場で記入し、その日学び感じたことを、その場で自己紹介し、その場で自己紹介した。



宅に持ち帰ることができ、参加した親子からは毎年頭を悩ます自由研究を参加するだけで終わらせられると好評だった。ワークショップの担当者には、「予約を取り始めたばかりだが、日やけ止めのコースで約80%、その他のコースで約60%、予約率が埋まっている。今年35日間(1日あたり20名ずつ)で700名が体験ができるようにスケジュールを組んでいるが、予約率100%を目指す活動していきたい」と話した。

勉強会では、皮膚科医で一般社団法人足育研究会代表を務める高山かおる医師をゲスト講師に招き、現代人の足の悩みと爪水虫は13人に1人が罹患しており、高齢者が約4割を占めているという。高山氏は、高齢化が進む中で、「爪水虫になっ爪が切れずに困っている、いわゆる爪の難民が増えている」と話し、足のケアでは爪を清潔に保つことの重要性を語った。